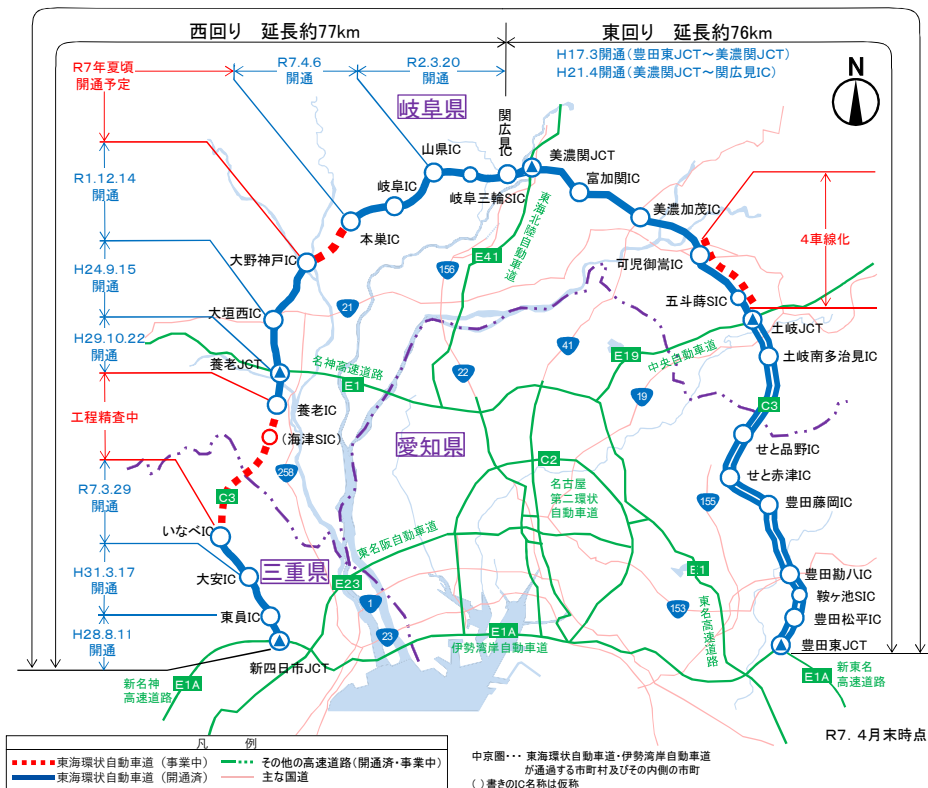


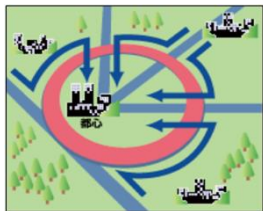
東海環状自動車道の進捗状況

- 国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る延長約153kmの高規格道路です。
- 中京圏の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果を発揮します。
- 道路の整備により、企業立地等の沿線開発が中長期に進む等、**ストック効果は子孫に引き継がれていきます。**



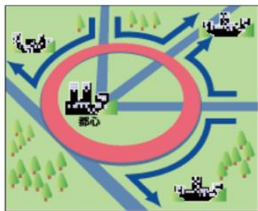
環状道路の機能

■分散導入機能



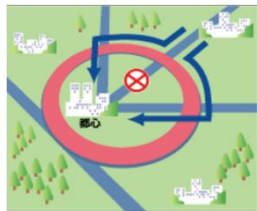
郊外から都心部への交通を分散導入する事で、都心部の交通集中が緩和されます。

■バイパス機能



通過交通の都心部への流入を抑制することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■非常時の迂回機能

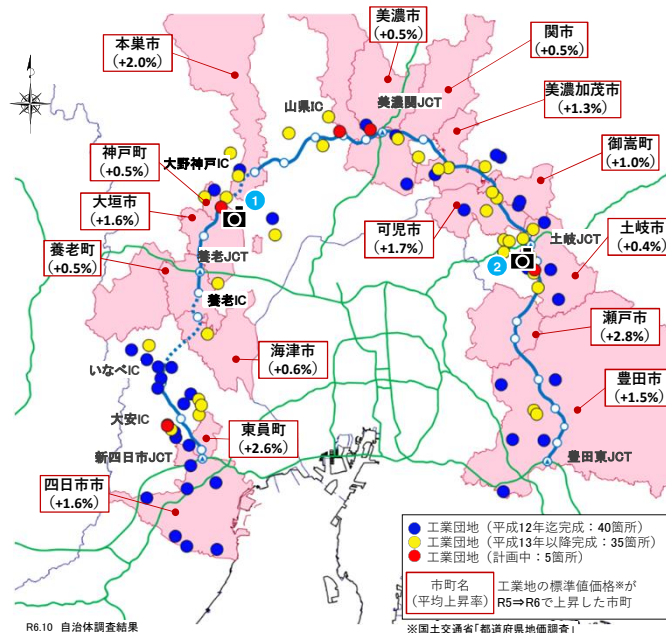


災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに迂回誘導が可能になります。

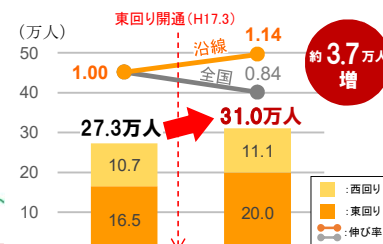
ストック効果（整備効果）工業団地が整備される等、民間需要が誘発

- 【効果】 ○東海環状自動車道沿線には多くの企業が立地。
工業団地数は平成12年（東回り全線着工）からの24年間で**倍増（40箇所→80箇所）**。
○東海環状自動車道（東回り）全線工事着手後、**約3.7万人の雇用が創出され、製造品出荷額等が約11.9兆円増加しました。**
- 【期待】 ○東海環状自動車道（西回り）沿線では、既存工業団地に加え、開通を見据えた更なる企業の進出が期待されています。

■東海環状自動車道の工業団地と基準値価格（工業地）が上昇した市町

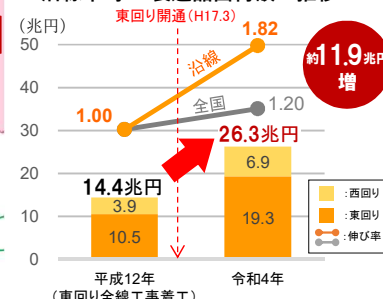


■沿線市町の製造業従業者数の推移



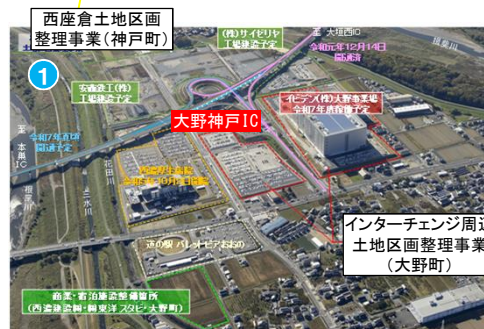
※1 沿線市町：東海環状自動車道が通過する市町
(東回り：8市4町、西回り：7市4町)
※2 平成12年工業統計調査、2023年経済構造実態調査より作成

■沿線市町の製造品出荷額の推移



※1 沿線市町：東海環状自動車道が通過する市町
(東回り：8市4町、西回り：7市4町)
※2 平成12年工業統計調査、2023年経済構造実態調査より作成

注：グラフ内、四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

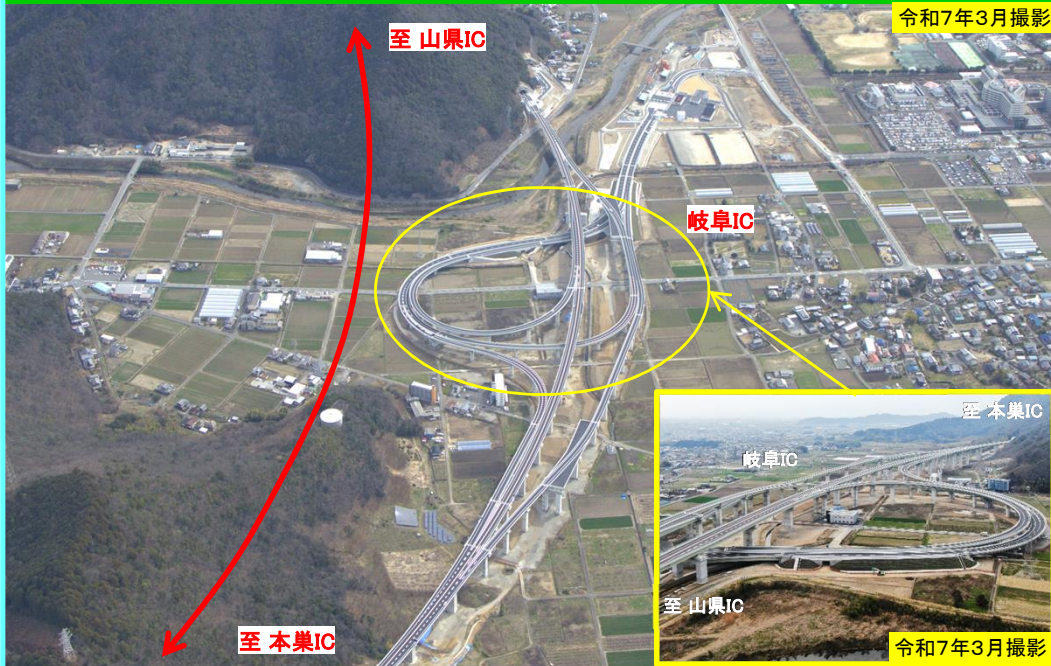


東海環状自動車道(西回り)現場状況

ダイジェスト版
令和7年4月6日

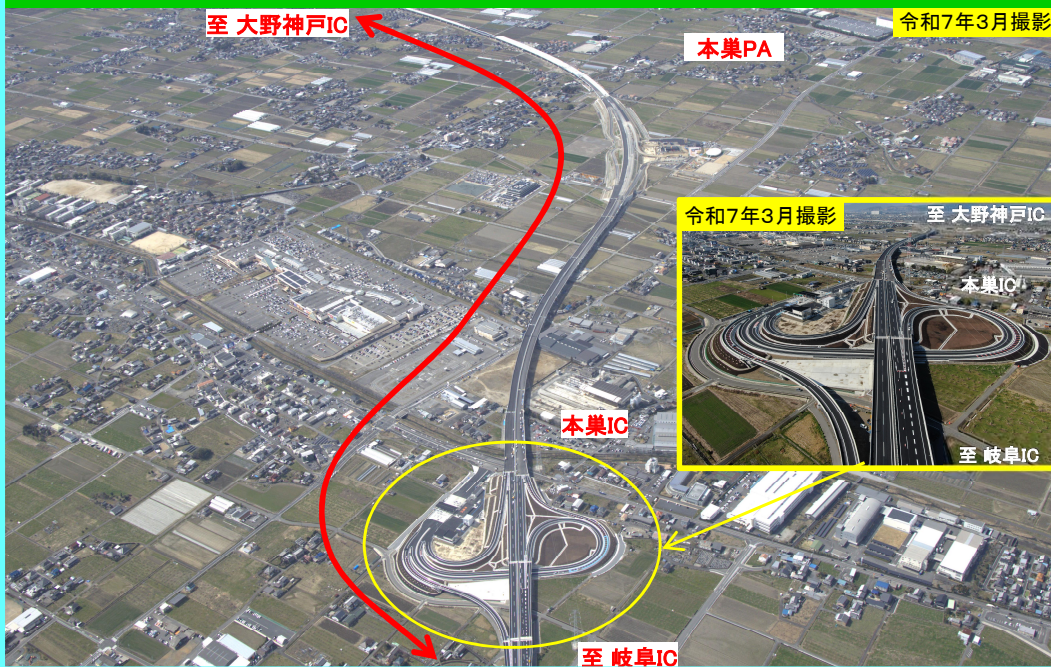
■山県IC～本巣IC

令和7年4月6日開通



■本巣IC～大野神戸IC

令和7年夏頃開通予定



■養老IC～いなべIC

工程精査中



■いなべIC～大安IC

令和7年3月29日開通

